

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和60年7月23日 第16報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	280		
(珪) <i>Melosira italica</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	680	◎	
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	120		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Schroederia judayi</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	320	○	
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	160		○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	120		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	160		◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	0.9	0.2
(珪) 珪藻綱	320	14.5	3.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	8.2	2.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1680	76.4	93.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	2200	総体積	1.22E+07
種 類 数	13	(μm^3)	

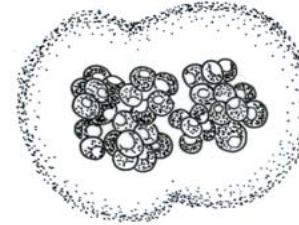
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	680

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	320

植物プランクトン第1優占種



Planktosphaeria gelatinosa
(プランクトスフェリア)
緑藻綱

細胞は球形。若い細胞は杯状の葉緑体と1個のピレノイドを持つ。厚い寒天質に包まれた群体をなす。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。